

## もりのにぎわい通信

### 2015年3月28日 定例活動報告

日時：2015年3月28日（土）9：00～15：30

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 12～18℃ 湿度 45% 風向 西南西 風速 5m

参加者：22人：子ども5人、大人17人（内土地改良区6人）

#### ■活動

9：00 集合

小高さん、橋本さんと打合せ

作業開始

池の周辺にクロマツを植林する・・・苗木、スコップ

9：45 受付 ガムテープにマジックで名前を書いてもらう。

10：00 集合

県環境学習アドバイザー 山口由富子（ゆうこ）先生紹介

森もりあそび隊は、自然観察会・・・バンダナ、筆記用具、バインダー、飲物、おやつ

大人は、クロマツの植林とコナラ、クヌギの植林を行う

11：00 休憩

11：15 作業再開

除草作業とクズの蔓切

畑の草取り

12：00 昼食

13：00 親子で自然観察会

14：30 後片づけ

15：00 解散

#### ■活動報告

3年物のマツ苗木50本を東側斜面に植えました。土地改良区の皆さんと中村さんに加え、会からは星野・古木・金井・小林さんが力不足ですがお手伝いしました。3年物だと小さいなと言いつつも、斜面の重力とガチガチに張り巡らされたクズの根っ子と格闘を続けましたが1時間程度で完了となりました。休みをはさんで残りの時間は、刈払機3人、蔓切り1名で雑草刈を行いました。まだまだ刈り切れません。

自然観察会を山口由富子先生にお願いしましたが、ネイチャー・ゲームという楽しいスタイルでの観察会をご披露いただきました。まずはカモフラージュ。先生の指定する範囲15mの間に自然のものでない人工物が置いてあるのを捜してください、何個見つけられますか。順番に一人ずつ一分で競争です。往復で行いましたが、私は往路で2個復路では4個でした。最後に種明かしで、トトロ、恐竜、ゴリラやら、透明な3角定規が枝にぶら下がっているというのもありました。「なかなか見つからなかったでしょう、どうしてでしょうねえ、やっぱり色が似ていると見つけにくいですねえ、これがカ

モフラージュということなんです」 う～ん、くやしい。

次はネイチャー・ビンゴ、春を思わせるものを皆でピックアップします。次に各々がこのうちの8個をビンゴカードの各々好みの位置に書き込みます。中央のラッキー・ゾーンに自分だけで決めた春を最高に思わせる単語を書き込んで、この春を皆さんで見つけに回っていくわけです。ビンゴのゲーム性が加わっているところが楽しいですね。

たくさんの事を教わりましたが特に大きな発見が二つありました。一つはここにリスがいるということです。実は姿を見たわけではないのですが、松ぼっくりの食べ方が独特なんだそうです。あの実の部分を食べるのに固いところを外して食べていって、残った芯の部分がちょうど海老天そっくりの形になるということで、その海老天形になった松ぼっくりがいくつも発見されました。いつかリスの姿を見ることができるとはいいのではないでしょうか。楽しみです。

もう一つはクズの新芽が食べられるということを知りました。アスパラみたいに湯搔いてマヨネーズをつけて食べたら美味しいそうです。天麩羅も美味しいそうでクズに利用価値を見つけれられたのがうれしいですね。それに新芽を摘むとクズの跋扈の抑制に威力を発揮しそうです。是非次回に試してみたいですね。

(記録:金井 章男)

.....

### ■森もりあそび隊

千葉県環境学習アドバイザー 山口由富子先生  
(フィールドネーム:たんぽぽ or チーバちゃん)

みなさん、こんにちは！

やっと、春がめぐってきましたね！

今日は、この森の自然を五感を使って見て歩きます。

五感とは、「見る・聞く・触る・嗅ぐ・味わう」という私たちに備わった五つの感覚のことです。

その五感を使って、いろいろなことを体験し、さらにその感覚を広めて、そして考えてみましょう！

春のうらかな日差しの中、小山の森の自然観察会へ出発！！

「自然とは何ですか？」この質問に苦戦する隊員たち。

自然＝生命ではないでしょうか？ 生きているということはとても自然な事ですね。

ふむふむ。当たり前の事が重いですね。

オオイヌフグリで一盛り上がり。フグリとは何の事ですかあ？

大犬のフグリですか？ 犬の大きいフグリでしょうか？？ 謎は深まるばかり…。

西洋タンポポと関東タンポポの違いもご承知の森もりあそび隊員。さすが！！

好きな葉っぱを各自5枚集めて、ツリーハウスでフィールドビンゴの始まり。

親を決めて手持ちの葉っぱを1枚場に起き次の人へ条件を出す。その条件をクリアしない場合(親の判断で) その場にある全ての葉っぱを取らなければいけない。その葉っぱが無くなった人から上がりというわけ。

親「これより長い葉っぱ」「……無い」次の親「これより大きい葉っぱ」「……無い」

なかなか続かない(笑)

次のフィールドへ。チーバちゃんが取り出したのは「エビフライ」。エビフライとは、リス

が食べた後の松ぼっくり。「これが落ちていれば、この森にもリスがいるってことなんだけどね……」「これじゃない!？」とRくんのお父さん。「うわー!! 本当だあー!!」と、大人も子供も大はしゃぎ!! 「リスが居るんだあー!」今日はエビフライを見つけられた記念すべき日です!

その後も散策しているとふでりんどうがひっそりと咲いていたり、つくしが1本だけ生えていたり、ウスタビガのマユが鈴なりにぶら下がってる木があったりと、あちらこちらに春の訪れを感じられる小山の森でした。

午後からは隊員はひとりMちゃんだけ。

「カモフラージュ」というゲーム。15mのロープを張り、奥行き1m高さ1.5m程の範囲内にチーバちゃんが隠した「自然でないもの」を探すゲーム。

何がいくつ隠されているのか知らされていないとはいえ、さっぱり見つからない……。

スタート地点にトトロのフィギュア、高い木の枝にピンチ、目の前の木の枝に三角定規、おもちゃのゲタは裏返して葉っぱの上に、草かげに恐竜、山こうばしの葉に木彫りのサル、草かげに小トトロのフィギュア、葉に埋もれてくまのマスコット、終わりに魔女の置物。

自然を観る時は、足下、奥、背の高い所、ふり返って、そして少し離れて観察しましょう。

最後は「フィールドビンゴ」。森で見つけたり感じた「春」を皆で挙げます。そして9つに分けたビンゴのマスの中に書いて埋めます。(中央のラッキーゾーンには自分のスペシャルを書き込みます) 森を歩いて行く中で、書き込んだワードに遭遇したら○を付けます。全てビンゴになったら勝ち。最年少のMちゃん、みごと1等賞!!

Hさん、本日のスペシャルをタンポポにして1番を取りたかったのに残念でした(笑)

ゲーム終了後、後片付けをしている時ヒバリが空で鳴いた事にKさんは気づいていたでしょうか……?

(記録:石阪 淳)

■お知らせ ホームページもご覧ください→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、4月26日(日)に行います。

森の自然観察会、野菜苗植えと山菜採りを予定していますので、奮って参加ください。



マツの植樹集合写真



自然観察会集合写真



マツ 50 本を植樹



山口先生（チーバちゃん）葉っぱで何するの？



葉っぱゲームで真剣勝負



山口先生と観察会開始



「リスの食痕」大発見！



これは何かな？



黄緑色のウスタビガの繭



ニホンアマガエルも森の生き物



トキリマメを見つけました。



木から離れた繭、蛾になれるでしょうか？



ネイチャーゲーム（カモフラージュ）の様子



自然の観方を教えていただきました。



こんなに隠れていたとは・・・。



キブシがありました。



これが、エビフライ？（リスの食痕）



可憐なフデリンドウ



ニホンカナヘビ



キジムシロ



ヒガンザクラ?が満開



クリを見つけたよ!





やっと見つけた ツクシ